

平成 29 年度 第 2 回 岡山市環境政策審議会概要

1 日 時 平成 30 年 1 月 22 日（月曜日）午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分まで

2 場 所 岡山市議会棟 3 階第 1 会議室

3 出席者

委 員：別掲委員名簿参照（1 名欠席）

岡山市：環境局長、環境局統括審議監ほか関係職員

事務局：環境企画総務課

4 傍聴者数 1 名

5 主な意見

可燃ごみの広域処理施設建設候補地選定における二次選定の項目ほかについての説明を行い、委員から意見を聴取した。主な意見は以下のとおり。（●は委員、○は当局を示す。）

- 評価の際に全項目 3 段階評価の加点方式で選定すると、項目によってウェイトに差があるように感じられ無理があるように感じる。
- ウェイトを付けるのは難しい。一番良いのは、全項目のウェイトを同じにすることではないか。重要な事項については、評価項目がたくさんあればウェイトが高くなっているという考え方ができる。
- このような評価をする際に、評価項目の重要性を検討することは非常に重要である。また、項目をどう選ぶかということは、その地域の評価に対する考え方が強く打ち出されるので、何を重視したかをきっちりと表明した方が良いと思う。ただ、その場合には項目のバランスを精査しないといけない。
- 候補地抽出の際に 1.3ha 以上という面積条件を設けているが、より広い候補地もある。面積が広いことは安全性や騒音等の対策に関し良いことだと思うので、広い候補地には加点をしても良いのではないか。
- 候補地の面積が広い場合、広い面積に合わせた施設整備とするのか、あくまで必要な部分のみ整備し使うのか。
- 最終的には環境影響評価をしなければならない。環境影響評価をやる時に、どのような用地を選んだかが非常に重要になってくるが、この選定が環境影響評価の前段階とも考えられるので、環境に配慮したものを作らないといけない。時間も掛けられないが、ある程度、客観的に正しいと言えるような評価基準にしておく方が良い。
- 数値的に評価出来るような基準と、ある・なしという基準があるが、その場合、埋蔵文化財、希少な動植物に関する項目など NG となる条件を設定すべきではないか。
- 希少な動植物の項目で、このような評価方法で、いない・いるというのを 3 段階でチェックしても大丈夫か。例えば、ここで出てこないとチェックした後で、もし、出てきたということが分かったとしたら、環境政策審議会でそれを認めたということに対

- する責任がある。どの辺まで評価基準を明確にするかも考えてもらいたい。
- 新施設が猪や猿、カラス、セアカコケグモ、ヒアリなどの棲家にされることもあるのでそういった面も気をつけた方が良いのではないかな。
 - 生物多様性国家戦略などを含めた指標を入れておくべきではないかな。
 - 生活環境について、民家の数についての項目があるが、教育施設に関する項目も必要ではないかな。ただ、周辺環境に影響を与えないというアピールになることも事実である。環境学習という面でも近くに焼却施設があれば良いとも考えられる。
 - 生活環境の設定範囲をもう少し広げたほうが良いのではないかな。
 - 生活環境については、単一項目で良いのか。騒音等の項目も入れたほうが良いのではないかな。
 - 人口密度がある程度あれば効率的な運搬が可能になるが、不便でコストが掛かっても、生活環境の安定性が大事ではないかな。
 - 周辺景観への配慮の項目も入れた方が良いのではないかな。
 - この様な評価の際には、この評価は誰にとっての評価なのかということが重要である。主体間でウェイトを付ける方法もある。
 - 全項目が加点方式だが、減点も導入してはどうか。
 - プラスアルファの項目は加点方式でやっていくと良いのではないかな。
 - 各項目の点数の付け方で、他項目と関連がある部分については配慮が必要ではないかな。
 - 既設の焼却施設に近い候補地は、なるべく避けた方が良いのではないかな。
 - 候補地エリアの将来計画があれば、共存出来るような所が良いと考える。
- 今日いただいた内容をもとに評価基準の案を整理し直して、再度、皆様にお示しして意見をいただくという形にさせていただいた方が良いと考える。
- 三次選定に、評価項目の重み付けや階層評価法があるということを考えると、二次選定は NG の候補地や傾斜地ほか、一次選定の次のフィルターとして比較的客観的な基準で選定するのが良いのではないかな。絞り込んだ後に評価項目を議論したほうが良いのではないかなと思う。
 - 三次選定の内容には評価が入っているが、今日の議論では、その三次選定で予定されているものが二次選定まで入り込んだ形になっていた。当初は、二次選定は 3 箇所を選ぶために実施し、三次選定で 3 箇所について詳しい評価をするというような話の流れであったが、今の議論によると、三次選定の内容をもう少し前倒しにしようという様な意見が多かった。
 - 三次選定の内容に評価項目の重み付けがあるので、三次選定でウェイトをかけて議論していくという流れでどうか。
 - 三次選定において、どこに重みを置くのかという議論を環境政策審議会ですっきりとしていければと思う。